

## 「青少年のための科学の祭典 2017 宮崎大会」報告書

- ①主催 「青少年のための科学の祭典2017宮崎大会」実行委員会  
公益財団法人宮崎文化振興協会 宮崎科学技術館  
公益財団法人日本科学技術振興財団
- ②後援 宮崎県教育委員会，宮崎市教育委員会，宮崎県小学校教育研究会理科部会，  
宮崎県中学校教育研究会理科部会，宮崎県高等学校等教育研究会理科部会，  
宮崎県高等学校等教育研究会工業部会，宮崎大学，株式会社SUNAO製菓，  
文部科学省，全国科学館連携協議会，全国科学博物館協議会，NHK，日本物理教育学会，  
一般社団法人日本生物教育学会，日本地学教育学会，日本基礎化学教育学会，  
一般社団法人日本科学教育学会，一般社団法人日本理科教育学会，  
一般社団法人日本地質学会，一般社団法人日本生物物理学会，  
一般社団法人日本物理学会，公益社団法人応用物理学会，公益社団法人日本化学会，  
一般社団法人日本機械学会，公益社団法人日本アイソトープ協会，  
公益社団法人日本理科教育振興協会，一般財団法人日本私学教育研究所，  
公益社団法人日本植物学会，公益社団法人日本動物学会，公益社団法人日本天文学会，  
公益社団法人日本工学会，一般社団法人電気学会，日本エネルギー環境教育学会

③会場 宮崎科学技術館（〒880-0897 宮崎市宮崎駅東1-2-2）

④開催日時 平成29年7月28日（金）～7月30日（日）の3日間とも9:00～16:30開催

⑤来場者数

7月28日（金）	2,033	人
7月29日（土）	1,935	人
7月30日（日）	2,441	人
計	6,409	人

⑥出展

○ 実験ブース出展数	7月28日	13	ブース出展
	7月29日	20	ブース出展
	7月30日	18	ブース出展

○ 参加スタッフ延べ人数

3日間累計	51	ブース出展
-------	----	-------

実験演示講師	277	人（補助スタッフも含む）
事務局	15	人
計	292	人

⑦実施内容

教師や生徒が工夫をこらした科学実験や科学工作を一堂に集めて，子どもたち自ら，触れたり作ったりする中で，自然科学・技術の面白さを体験させる場および機会を提供することができ，所期の目的を達成することができた。

⑧出展タイトル一覧

1	アンモナイトのキーホルダー作り
2	紙でつくる かみつきへび
3	針金アメンボを浮かべよう
4	身近なもので発泡入浴剤（ブクブク）をつくろう！！
5	ビービーうるさい ビービー虫！
6	紫外線を目で感じよう！！
7	身のまわりのもので楽しい動物のおもちゃを作って遊ぼう
8	光で遊ぼう！ ～赤外線から紫外線まで～
9	ペットボトル顕微鏡をつくろう
10	太陽観察 ～黒点やプロミネンスを見よう！～
11	人工イクラ入りヨーヨーの作成
12	ペットボトルと風船で空気砲をつくろう！
13	奇妙な？未知の？不思議な？物質
14	土の中の宝もの
15	磁石にくっつく粉を作ってみよう
16	割れないシャボン玉を作ろう
17	紙コップヘッドホンを作ろう！！
18	放射線を測ろう
19	科学のちからで身近なものを観てみよう！
20	まゆ玉ころがし
21	ガリガリトンボ
22	ベンハムのコマ
23	バランストンボ
24	クロマトグラフィー法を使ったオリジナルメッセージカード作り
25	楽しい飛び出すカードをつくろう！
26	太陽系の模型を作ろう
27	オリジナル芳香剤をつくろう

⑨製作物

- ・実験解説集：B5 版／表紙 5 色・中 1 色／ページ数：35 ページ／製作部数：2,500 冊
- ・ポスター：製作せず
- ・チラシ：A4 版, 4/4, 上質 70kg／カラー／製作枚数：45,000 枚

⑩広報活動

製作物（チラシ）は、宮崎市、国富町、綾町の小学校・中学校に郵送し、全児童・生徒・教職員に配布した。また、公民館等の公共施設にも配布し、宮崎科学技術館への来館者には手渡した。さらに、本大会のホームページを公開するとともに、宮崎科学技術館を通して情報発信を行った。また、市広報みやざき（7月号）、まなぶんか、宮崎科学技術館ホームページを通じて開催を案内した。

7月28日、MRT ラジオの取材を受け、15:45～15:50の「飛び出せスクーパー」で情報発信を行った。